

宇治市魅力発信検討委員会（第1回） 議事要旨

日時：平成26年7月7日（月）午前10時から

場所：うじ安心館3階ホール

出席者：委員9名 事務局等5名 傍聴1名 報道関係者3名

1. 委嘱状交付

- ・山本市長より委嘱状の交付

2. 市長挨拶

- ・山本市長よりあいさつ

3. 開会

- ・配付資料の確認

（資料1）宇治市魅力発信検討委員会（第1回）次第

（資料2）宇治市魅力発信検討委員会構成名簿

（資料3）宇治市魅力発信検討委員会席次

（資料4）魅力発信に係る検討について

（資料5）調査研究概要

（資料6）平成26年度高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト実施要
項（案）

- ・各委員より自己紹介、挨拶

- ・欠席者の連絡

4. 委員長の選出

- ・委員長の選出

宇治市魅力発信検討委員会設置要項の第4条に基づき選出

委員長に京都文教大学 総合社会学部長 教授の三浦潔委員を選出

- ・三浦委員長より挨拶

5. 協議

（1）魅力発信に係る検討について

【事務局から説明】

- ・本事業の取組の背景・目的

- ・これまでの取組
- ・魅力発信に係る行動指針について
- ・シティプレゼンテーション手法に関する調査研究（市の魅力発信に向けて）
結果概要
- ・平成26年度のスケジュール

【協議結果】

- ・平成25年度までの取組状況を踏まえ、本委員会の設置目的等について、確認を得られた。
- ・平成26年度スケジュールについて、了解を得られた。

【質疑応答・意見交換】

- ・平成25年度は、シティプレゼンテーション手法について、（一財）地方自治研究機構と共同で調査研究を実施したものであり、今年度は研究結果を参考にしながら宇治市としてさらに検討を進め、本市の行動指針として取りまとめを実施したい。
- ・今後の情報発信については、世代間、市内と市外、関西と関東など様々なギャップを認識して、ターゲットと目的を明確にし、ターゲットを選定、ターゲットに適した手法（ツール）、ターゲットに適した内容を発信していくことが大切である。
- ・定住促進や税収増を考えるとお茶と観光に加え、産業の魅力創造・発信は、重要な役割を担う。
- ・宇治が歴史上の重要な土地であったことなど、おもしろさ、魅力をうまく発信していくことは大切である。
- ・今の10代は、世界へ羽ばたくグローバルな社会、時代を生きていくこととなる。そのためには、自分自身のアイデンティティを築くために地元はとても大切な意味を持つこととなる。
- ・若い子は、最先端だけでなく、伝統にもとても興味がある。
- ・FMうじのラジオと携帯（スマートフォン）の連携で、住民にも観光客にもメリットが生まれる様な、情報発信はできないか。
- ・宇治景観十景もあり、活用しないともったいないのではないか。
- ・情報の発信は、話題性やタイミングがとても大切である。また、オンリーワンは、話題性がある。
- ・SNSなどは、いいことも悪いことも一瞬で広がる。最近では、観光地の情報だけでなく、地域の人への対応などもインターネット上では話題となるため、地域そのものが宇治のイメージをつくる。

- ・最近は、観光客の年代層に広がりが見られる。また、個人の外国人観光客が増えており、外国人観光客の受け入れ環境を整えるためには、最低限のインフラ整備も必要と感じる。
- ・近鉄沿線からのアクセスが悪い。また、宇治川をまたぐ橋の間隔が長過ぎて、いわゆる東西宇治のアクセスが良くない。
- ・行政は、民間に比べ情報発信（アピール）が、得意とはいえない。本委員会でターゲットの選定や有効な媒体などを検討し、情報発信力を強化していくための対策順なども議論したい。
- ・今後の時代を担う若い人たちの意見も十分に反映した指針となるようお願いしたい。

（２）高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテストの開催について

【事務局から説明】

- ・平成26年度高校生グループ対抗宇治のPR動画コンテスト実施要項（案）について

【質疑応答・意見交換】

- ・この企画をPRし、周知方法の工夫などにより積極的に盛り上げる必要がある。

【協議結果】

- ・本委員会としては、案を了承するので実施していただきたい。

3．閉会